
ネタ倉庫

ひじき

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネタ倉庫

【Nコード】

N6509Y

【作者名】

ひじき

【あらすじ】

これは作者が書いたネタ倉庫です

小説でも何でもないです

前書き

これは作者が思いついた設定などを書いたネタ倉庫です

しかし今は遊戯王の小説一本で行くつもりなので書くつもりはありません。まあ、向こうが完結したら書くかも知れませんが

基本的に【あらすじ的なもの】【主人公の能力】【経歴】を書いていきます

また「この設定いいな」書きたいな（棒読み）「と言う方は、感想かメッセージを送って下さい……………居ないと思うけどね」ボソッ

2011年・11月・19日現在、8本のネタが思いついています。その内一本は完成しているので直ぐに投稿します

それと内容が殆ど厨2病的な感じですが、それが嫌いな人は左上の戻るボタンを押して下さい

ちなみに原作名のFate/zeroは次に投稿する奴の原作がFate/zeroだからです。投稿する度にドンドン原作名やキーワードが増えていくと思います

では

一 本 目

【あらずじ的なもの】

見渡す限りの視界を大理石が覆い薄暗い闇が辺りを包み込む中、
一人の若い男性と老人がその場所に佇んでいた

若い男性……と言うべきなのだろうか

彼の髪は白く染まっており、片目は死んだ魚のような目をしている。
さらに血管には何か生き物が存在しているのか時折動いていた
老人は小柄でかなり歳を取っており、顔には無数のシワ、顔が歪
でおりその歪によって出来た影のせいで目の部分が黒く見えている
彼らはずっと立っているわけではない

男性は地面にとある模様を描き詠唱を唱えており、老人はその様
子は見守っている

「素に銀と鉄。降り立つ風には壁を。四方の門は閉じ、王冠より出
で、王国に至る三叉路は循環せよ。閉じよ。閉じよ。閉じよ。閉じ
よ。閉じよ。繰り返すつどに五度。ただ、満たされる刻を破却する」

男性が魔方陣を書き終わると同時にその詠唱も終える
そして立ち上がり手を前に添え次なる詠唱を唱える

「A n f a n g — 告げる。告げる汝の身は我が下に、我が運命
は汝の剣に。聖杯の寄る辺に従い、この意、この理に従うならば応
えよ——誓いを此処に。我は常世総ての善と成る者、我は常世総て
の悪を敷く者——されど汝はその眼を混沌に曇らせ侍るべし。汝、
狂乱の檻に囚われし者、我はその鎖を手繰る者——」

唱えれ始めた刹那、魔方陣が光り輝き辺りに光が注ぎ込む

男性は目を閉じ詠唱を間違えないよう集中する。その顔には汗が拭きでており、いかにも辛そうな表情をしている

しかしそれを見守る老人には男性を心配するような様子はなく、逆に男性が辛そうな表情を嬉々として見ている

「――汝三大の言霊を纏う七天、抑止の輪より来たれ、天秤の守り手よッ――！」

最後の言葉など半ば叫ぶように唱え、英霊を召喚する詠唱を唱え終わる

すると詠唱を終えた途端、魔方阵から魔力と激しい突風が吹き荒れる

突風によって舞い上がった砂埃の中に人影の存在、そして莫大な何か人影から放たれていた

間桐雁夜は確信した。恐らく自分はバーサーカー、それも特大なサーヴァントを召喚したことを

サーヴァントから放たれる何かは分からないが、恐らく魔力なのだろう

しかし間桐雁夜の確信は一つ外れていた
それは辺りに響き渡る一つの声によって知らされる事となった

「サーヴァント、バトラーここに参上しました。問いましょう、貴方が僕のマスターですか？」

召喚されたのはバーサーカーではなく、バトラー。つまり執事であつた

この物語は間桐雁夜のサーヴァントがバーサーカー……サー・ランスロットではなくバトラー……綾崎ハヤテだったら

そんな物語である――

【真名】綾崎ハヤテ

【クラス】バトラー

【マスター】間桐雁夜

【性別】男性

【身長・体重】182cm 64kg

【属性】秩序・善

基本ステータス

【筋力】D 【魔力】E

【耐久】A+ 【幸運】E

【敏捷】C 【宝具】A

気+正宗使用時

【筋力】B 【魔力】E

【耐久】A++ 【幸運】E

【敏捷】 A

【宝具】 A

【クラス別能力】

騎乗：B

騎乗の才能。大抵の乗り物なら人並み以上に乗りこなせるが、魔獣・聖獣ランクの獣は乗りこなせない

専科百般：A+

類まれなる多芸の才能。

戦術、学術、芸術、詐術、話術、他にも

酒造や文芸全般の専門スキルについて、Aランク以上の習熟度を発揮する。

気配遮断：B

完全に気配を断てば発見する事は困難である。

ただし、自らが攻撃態勢に移ると気配遮断のランクは大きく落ちる
また相手が同ランク以上の『気配察知』を所持している場合
状況次第で見破られる可能性がある

単独行動：A

マスター不在でも行動できる。

ただし宝具の使用など膨大な魔力を必要とする場合はマスターのバックアップが必要。

【保有スキル】

直感：A

戦闘時、常に自身にとって最適な展開を”感じ取る”能力。
研ぎ澄まされた第6感はもはや未来予知に近い。
視覚、聴覚に干渉する妨害を半減させる。

見切り：B

敵の攻撃に対する学習能力。

相手が同ランク以上の『宗和の心得』を持たない限り、
同じ敵からの攻撃に対する回避判定に有利な補正を得ることがで
きる。

但し、範囲攻撃や技術での回避が不可能な攻撃は、これに該当し
ない。

宗和の心得：B

同じ相手に同じ技を何度使用しても命中精度が下がらない特殊な
技能。

相手が同ランク以上の『見切り』を持たない限り、
攻撃が見切られなくなる。

勇猛：A

威圧・混乱・幻惑といった精神干渉を無効化する能力。
また、格闘ダメージを向上させる効果もある。

動体視力：A

動いている物体をの速度を見分ける能力

相手の動きがまるでスローモーションのように見えるようになる

気配察知：B

敵の気配を察知する天与の才。

周囲の生命体、鬼などの異端、霊的存在の位置を捕捉可能。

このランクならば数百mの範囲を容易にカバーする。

気配遮断で存在を隠匿していても判定次第で見破る事が出来る。

閻魔の加護：E

幸運？ なにそれ？ おいしいの？

幸運のステータスがEで固定される

黄金律：E

身体の黄金比ではなく、人生において金銭がどれほどついて回るかの宿命。

収入は少なく支出は多い、毎日お金のやり繰りに悩まされるだろう

気：A

世界に生きる全ての生き物に存在する生命エネルギー

これを活性化することで筋力・耐久・敏捷のランクを1アップする

【宝具】

「妖刀・正宗」

ランク：B

レンジ：i

種別：自身宝具

由来：名匠として知られる刀鍛冶・正宗が作り出した木刀元々は鷲ノ宮家代々の家宝であり、ヒナギクに渡されるがヒナギクが白楼を手にしたためハヤテの手に渡る

上記に書かれてあるように木刀である

しかし一般の宝具より高めの切れ味や破壊力などを持っている妖刀であるため、その妖気で自身の切れ味を上げているのだと思われる

その妖気が装備者にまでも影響を及ぼし潜在能力を極限まで引き出し装備者の筋力・耐久・敏捷のランクを1アップする

しかし副作用なのか感情が高ぶりやすくなる能力も存在するため感情を完璧に制御できないと、暴走する危険性があるハヤテには勇猛が有るため制御できる

また正宗自身にもある程度の意思が宿っている様で、ハヤテが呼べばどこからともなく手中に現れる

「黒椿」

ランク：A++

レンジ：i

種別：i

由来：i

白楼と対を成し、悪をなすための王の剣

元のランクはEXであるが、ハヤテの属性が秩序・善であるため1ランク下がっている

真名開放のように能力が存在するらしいが、ハヤテの属性のせい

で使用不可となっている

しかし、黒椿は純粋な剣としての強さがあり、同ランク以下の宝具を斬る事も可能

また破壊することも殆ど不可能に近く、恐らくは白楼で無いと破壊はできないと思われる

また所持しているだけで思考が悪に染まっていき最終的には【精神汚染：A】になることも

ハヤテは勇猛が有るため抑えられているが、長時間使用すると汚染されることも……

「白楼」

ランク：EX

レンジ：I

種別：I

由来：I

黒椿と対を成し、正義をなすための王の剣

黒椿と違い能力は使用可能、しかし一体どんな効果なのかは不明
剣としての強さは黒椿以上で、状況次第で黒椿をも叩き潰せるらしい

所持しているだけで思考は善に染まっていく、長時間使用していれば呪いなどの耐性が付く

またこの剣と黒椿で二刀流にすることで黒椿のデメリットである思考が悪に染まっていくこともない

【必殺技】

「疾風の如く」

気を全身に行き渡らせ高速で移動する技

しかし人間を超える動きを無理やり動かしたため、使用した後は激痛が走る

だが最近は気による身体を強化しているため、痛みは少なくなっている

後の事を考えなければ一瞬だけであるが敏捷のランクがA++以上となる

また使用時は自身の体から黄色の気が吹き出る

「セーファイヤーシャッター 超爆裂炎冥斬」

剣から巨大な炎を生み出す技

野々原の十八番と呼べる技

ハヤテは妖刀正宗でしかこの技を出すことはできない

温度は最大4000度、ちなみにガスバーナーの温度は2000度

この温度だとアスファルトも溶けてしまいそうだが、何故か対象となる物・人以外は燃えない

【戦闘スタイル】

何重ものフェイントを掛け、将棋のように相手の逃げ道をドンドン塞いでいく「宗和の心得」

この戦闘方法は野々原の教えであるため、逆に相手のフェイントを見抜くのは楽々とできる「見切り」

また一見すると構えに隙があるのだが、これはワザと隙を見せている

気は身体能力上昇しか使えず、気弾などの遠距離攻撃には使えない
また野々原との修行時、霞愛歌のジャポニカ弱点帳による精神攻

撃を喰らい、そこいらの出来事では驚かなくなっている「勇猛」

基本は妖刀正宗で戦う

これは正宗からあふれる妖力によって自身の身体能力が上がるからである

黒椿は一見デメリットしか無く、使う意義がないと思われるが白楼と二刀流にすることでデメリットを無くすことも出来る

【経歴】

綾崎家の次男で母、父、兄の4人家族

過去は原作通り、幼いころ両親に裏切られ人生に絶望し天王洲アテネに出会う

お互いに深い傷跡を残し別れた後、兄が行方不明となりハヤテが生活費を稼ぐようになる

恐らく、その時に様々なスキルを取得したのだと思われる

そして16歳のクリスマススイブに、両親が1億5680万4000円の借金返済のため両親に売られてしまう

所持金も12円しかなく、営利誘拐を企み公園にいたナギに声を掛けたが、愛の告白と誤解されナギの好意を受け、住み込みの執事として雇われる

その後、原作通り様々なイベントがあり、修学旅行にてアテネと和解しキング・ミダスを撃破する

またこの時にハヤテは妖刀「正宗」の所有者となる

ミコノス島でナギの三千院家の遺産の相続権をすべて失った為、ムラサキノヤカタに住むようになる

それからは普通に生活をし白皇学院を卒業する

その時、アテネから王の剣の片割れ黒椿を授けられる

大学卒業後、花菱美希などのお陰（？）なのか日本でも多重結婚が認められることに……これによりナギ、ヒナギク、歩、泉、咲夜、アテネ、伊澄と結婚。この時にヒナギクから白楼を受け継ぐ

新婚旅行にて海外にいる時、兄であるイクサを発見。アフリカなどで難民を助けてたらしい

その後、幸せに暮らしていたが、ハヤテの事を良く思わない連中によりナギが負傷してしまう

これを自分のせいだと思ったハヤテは、自分の大切な人を守るために強くなることを決意する

超一流執事の野々原や、兄であるイクサを師匠とし剣術などを学ぶ
そして5年後、免許皆伝となり野々原からは超爆裂炎冥斬、イクサからは生命エネルギーである気を教わる

その後、イクサがアフリカなどの貧しい国を救うために活動するため裏からイクサを支える

イクサが海外へ行っている頃、ハヤテ達はナギの執事として一生懸命働く

様々なイベントなどが起こるが全て対処する

以下イベントなどなど

20歳の頃、アテネと初めて子供を授かる。それに嫉妬したのか他の妻たちも奮闘、この年でアテネ・ヒナギク・歩・ナギ・泉・咲夜・伊澄、計7人もの子供を授かる

23歳の頃、ワタルがサキとソニアと結婚。結婚式に出場する

26歳の頃、子供の小学校入学。妻たちの親馬鹿っぷりに苦労する

32歳の頃、子供の中学入学。この頃から娘から狙われるようになる

35歳の頃、子供の高校入学。一度だけ危うく親子丼を喰いそうになる

36歳の頃、クラウドさんが歳のため死亡、享年80歳。執事長となる

45歳の頃、娘たちが結婚。妻たちが暴れたが抑える

55歳の頃、この歳でもマリアさんの見た目トウわなにするやめ
あーーーーー！

60歳の頃、イクサが日本に帰ってくる。盛大に歓迎する

そして85歳の頃、妻や息子娘、孫たちに囲まれながら死亡する。

死因：過労死

一本目（後書き）

はい、一本目でした

Fate/zeroとハヤテのごとく！のクロスオーバーです

ちなみにこれは書くつもりはありません！

理由としては

？遊戯王小説一本で行くから

？Fate/zeroを余り知らない、書いたら読者様にボロクソ言われそう

？戦闘描写を書いたことはない、つまり駄文になりそうだからです

出来るだけ原作と同じような能力にしたと思います
能力の所の【気】とか奴は……気にしないで下さい

あと出来ればハッピーエンドとかにしたいですよね
間桐臓硯はセーフティシャッターで焼き殺して、考えてはないのですが白樓の能力で桜や雁夜を救いたいです

では一本目でした

今回はVRMMORPG物です

では次回までサヨウナラ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6509y/>

ネタ倉庫

2011年11月19日16時47分発行